西播地区での取り組み紹介

卒部（卒団）まで活動を継続させる取り組み

・１１月の選手権大会予選が終わった後、地区内の有志チームによる６年生が出場できる大会を実施する。
しらさぎ杯小学生バスケットボール大会（２月実施）
・１１月の大会後、一般ルール(一部ローカルルール)での練習試合を月一回ぐらいのペースで３月まで実施している。
・３月後半に、自チーム主催で地区内外のチームを誘って６年生メインの練習試合を開催する。
・ミニ競技規則に一部一般ルールを採用しU15 への橋渡しとする大会を実施。
・練習でU15 ルール、器具を用いた指導をするとともに、後輩メンバーへのアドバイスなど主体的に競技に関わる環境づくりを行っている。
・U15 クラブチーム主催のU12 練習会、練習試合への参加。
・３月の卒団までの間に近隣の中学生チームと交流戦を行う。

広報の工夫により、バスケットボールの出会いの場を知らせ、気軽に触れ合える取り組み

・インスタグラムなどを利用し体験練習会を告知し、多くの子どもたちにバスケットボールの楽しさを知らせる機会をもち、ミニバスケットボールチームへの参加を勧誘した。
・インスタグラムでチーム活動内容を公開している。練習、試合だけでなくオフショットでチームの雰囲気なども積極的に発信し、ミニバスケットボールに対する親近感を持ってもらえるよう工夫している。
・地域バスケットボール協会のホームページに、チームのことを記載してもらい存在を知らせる。
・スポーツ２１に於いてバスケットボール教室を行い、地区の子供達にバスケットボールを教え最後にミニゲームを行い、バスケットボールの楽しさを知らせる。
・地域のU15 クラブチームと連携し、元プロ選手によるクリニックの開催。
・姫路イーグレッツの選手との交流（サイン入りポスターを頂く）

親しませ・楽しめる取り組み

・選手権大会予選時にU11 の部を実施し、５年生以下の選手も試合体験ができる機会を設けた。
・親子ゲームを計画し、それに向けての事前練習を親子で行い、バスケットをする楽しさを体験させる。保護者には、バスケットボールをする楽しさを体験してもらい、チームの活動への理解や協力を深めてもらう。
・毎年の夏季合宿では練習だけでなくフリースロー大会、親子ゲーム、卒団生とのゲームなど選手・保護者ともに楽しんで参加できるイベントを計画している。また、宿舎ではお楽しみ会や勉強会などを通じで選手同士だけではなく、選手と指導者とのコミュニケーションを深める機会を作っている。
・１２月末に毎年恒例ランニングイベントを開催して親子で体を動かしお正月を迎える機会にしている。
・１２月のクリスマスは、チームクリスマス練習会を実施している。
・年度末に開催する卒団式では、卒団生へのお祝いの他、在団生の選手、保護者も参加したイベントや食事会を行い、チームスポーツの楽しさと子供たちの成長を実感してもらいチーム活動への理解を深めてもらう。